

| | 施策の方向 | 展開方向 | 目 標 |
|------------------|---------------|---|--|
| 保健計画・健康ひがしむらやま21 | 特定健康査・保健指導の充実 | ① 健診・保健指導の必要性に関する普及啓発 ② 健診を受診しやすい環境づくり ③ 特定健康診査・保健指導の質の向上 | ① 健診受診率の向上 ② 保健指導実施率の向上 ③ 内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少 |

◆第2期「特定健康診査等実施計画」（平成25年度～29年度）各年度の目標

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特定健康診査受診率 | 48% | 51% | 54% | 57% | 60% |
| 特定保健指導実施率 | 30% | 35% | 40% | 45% | 60% |

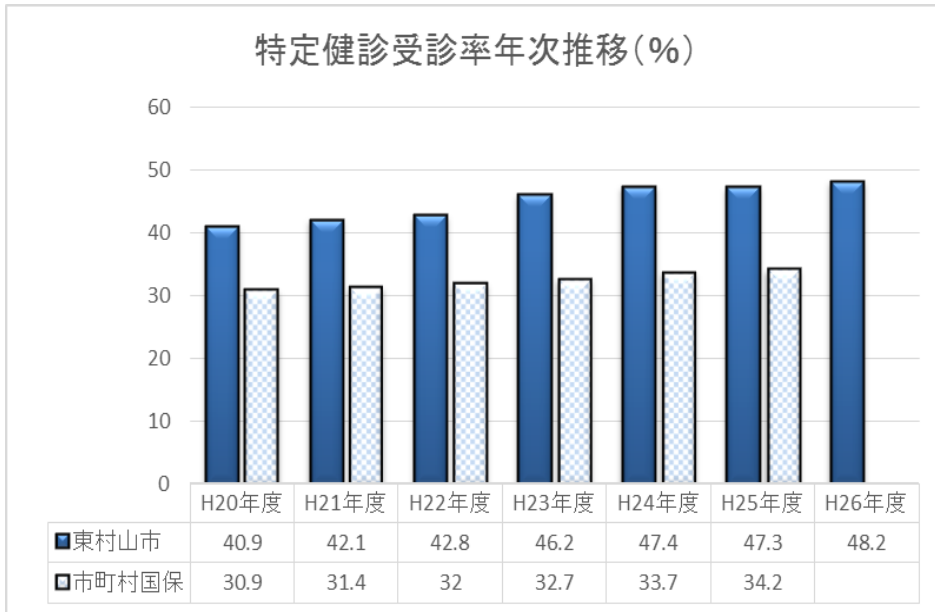
| 展開方向 | 平成27年度の取り組み | 28年度実施計画 |
|------------------|---|---|
| 健診・保健指導の普及・啓発 | ① 市報・ホームページ・健康ガイドに広報 ② 市内医療機関・グリーンバス・市内駅・市内図書館・公民館・薬剤師会・歯科医師会・商工会にポスター掲示依頼 ③ 特定健診未受診者（過去3年間未受診者・3年間に1回か2回受診）に対して、個別に受診勧奨通知を送付 | 継続 |
| 健診を受診しやすい環境づくり | H24度より、小平市と相互乗り入れ開始 | 継続 |
| 特定健康診査・保健指導の質の向上 | ① 健診・保健指導の質を向上させるため、定期的に医師会と検証、情報交換を実施 ② 特定保健指導実施率向上に向け、市民スポーツセンター及びサンパルネ（健康増進施設）にて指導員による運動指導実施、施設紹介等を行ない継続して施設活用を促す ③ 健康増進施設（サンパルネ）での保健指導・施設内説明・見学・体験を実施 ④ 特定保健指導対象者に問診を実施し、5年以内に生活習慣病発症リスクを分析（特定保健指導初回時及び6か月後に実施） ⑤ 特定保健指導参加者に健康増進施設無料体験チケットの贈呈 | 継続 実施内容変更ないため、医師会説明会なし ※医師会との定例会議において調整 |

1. 特定健康診査

表 1 特定健診対象者数・受診者数の推移 (法定報告)

| 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 | H23 年度 | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 対象者数(人) | 26,300 | 26,134 | 26,280 | 26,758 | 26,718 | 26,681 | 26,312 |
| 受診者数(人) | 10,745 | 11,013 | 11,242 | 12,333 | 12,663 | 12,628 | 12,675 |

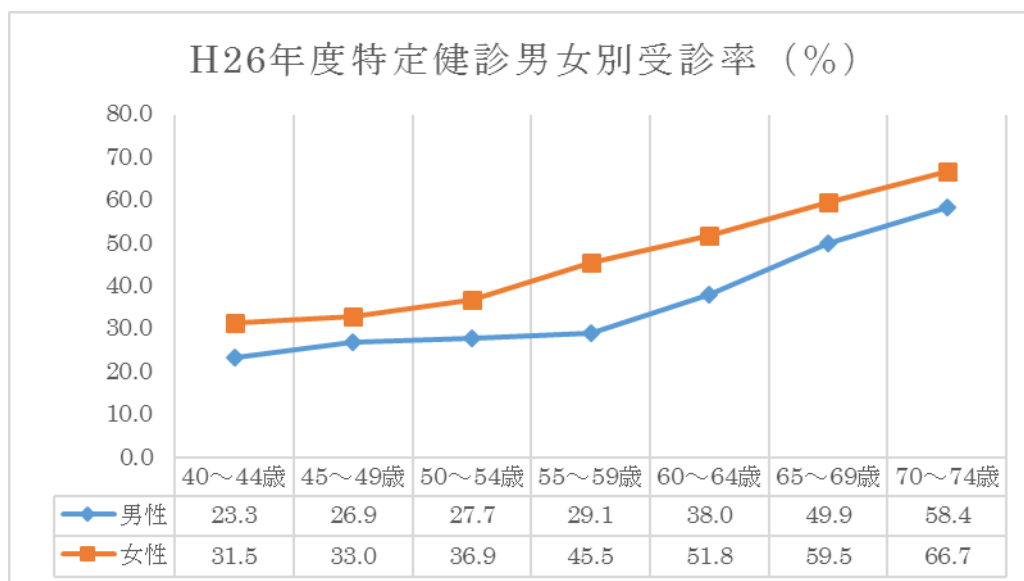
図 1 特定健康診査受診率比較



H26 年度市町村国保 (全国) は未発表

- 市町村国保 (全国) と比べ東村山市は受診率が高い。
- 東村山市、市町村国保 (全国) 共にともに年々増加傾向を示している。H26 年度東村山市は 0.9 ポイント微増した。

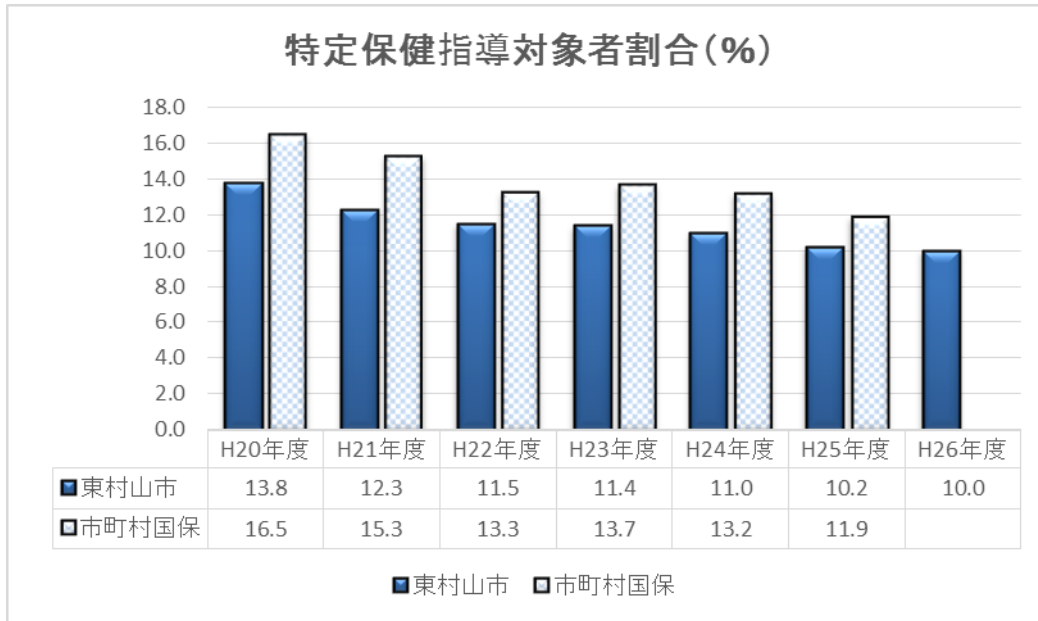
図 2 特定健康診査男女別受診率 (H26 年法定報告)



- 男女とも年齢が高くなるにつれて受診率が高くなっている。
- 全ての年齢層で男性より女性の受診率が高い。
- 40 歳代から 50 歳代の働き盛り世代においては、依然低い傾向にある。

2. 特定保健指導対象者割合

図 3



H26 年度市町村国保（全国）は未発表

- 市町村国保（全国）と比べ東村山市のほうが保健指導対象者の割合が低い。
- 保健指導対象者数は年々減少傾向である。H26 年度の東村山市の特定保健指導対象者は健診受診者の 10% である。

3. 内臓脂肪症候群該当者・予備群者の割合

図 4

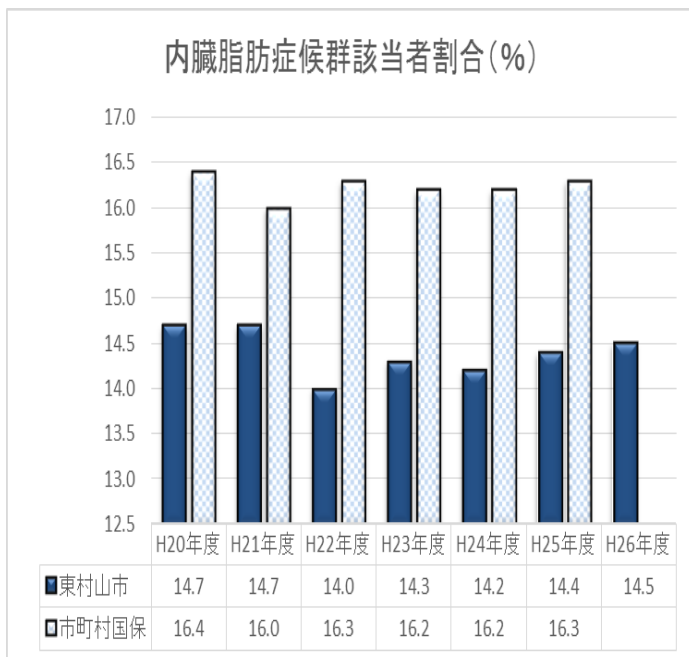


図 5

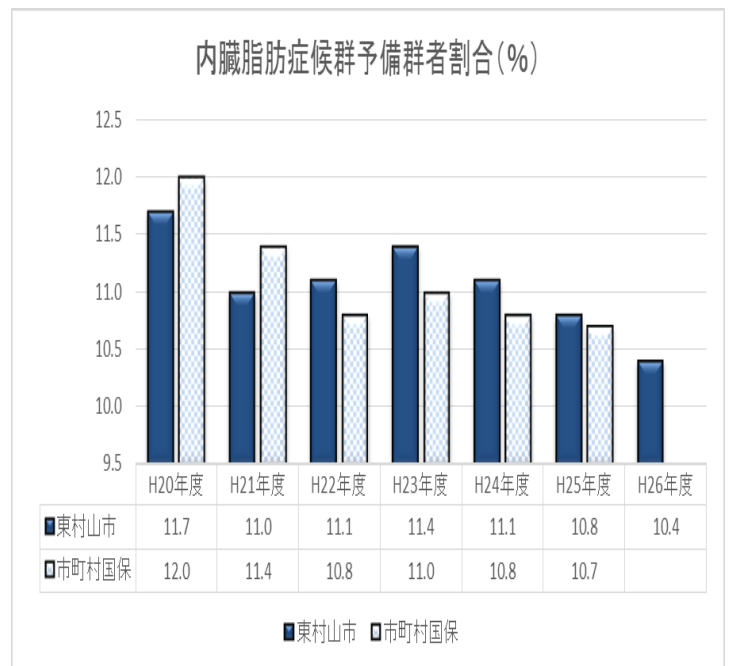


図 4・5 とも H26 年市町村国保（全国）は未発表

内臓脂肪症候群該当者の割合は、市町村国保（全国）の平均を約 2 ポイント下回っている。

東村山市の内臓脂肪症候群予備群の割合は平成 23 年から徐々に減少している。平成 25 年以降は 10% 台になっている。

4. 特定健康診査受診者のリスク保有状況（H26 年度法定報告より）

表 2：男性

| レベル | 該当項目 | 構成比率(%) | 合計構成比率 |
|--------|--------------|---------|--------|
| 情報提供 | リスクなし | 14.5 | 83.5 |
| | リスク1つ該当 | 19.7 | |
| | リスク2つ該当 | 12.3 | |
| | リスク3つ該当 | 4.0 | |
| | リスク4つ該当 | 0.7 | |
| | 腹囲・BMI該当 | 4.1 | |
| | 腹囲・BMI・喫煙 | 1.3 | |
| | 服薬中のため情報提供 | 27.0 | |
| 動機づけ支援 | | 7.0 | 12.0 |
| | 65歳↑積極的→動機づけ | 5.0 | |
| 積極的支援 | | 4.5 | 4.5 |
| 合計 | | 100.0 | 100.0 |

表 3：女性

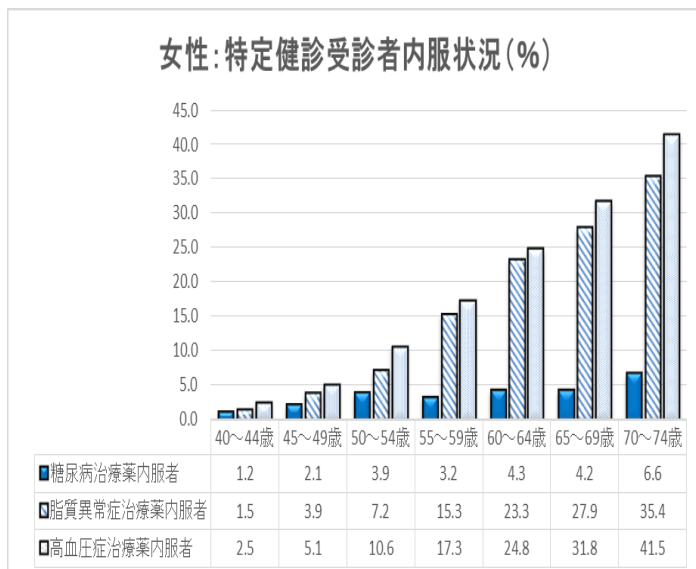
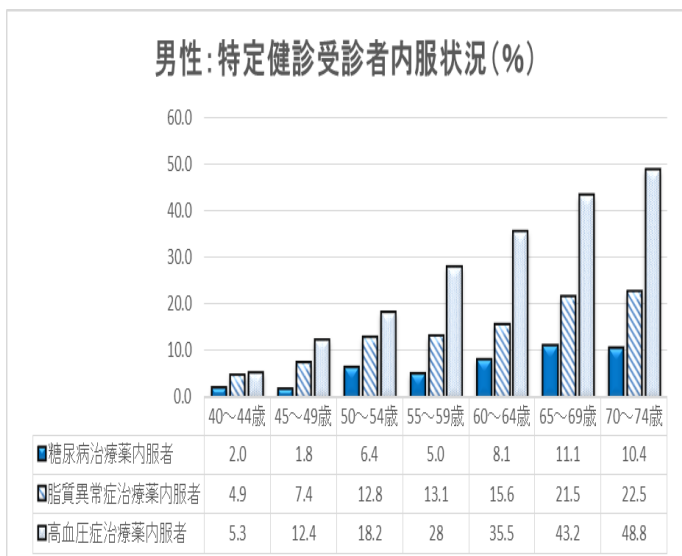
| レベル | 該当項目 | 構成比率(%) | %合計構成比 |
|--------|--------------|---------|--------|
| 情報提供 | リスクなし | 36.1 | 94 |
| | リスク1つ該当 | 28.8 | |
| | リスク2つ該当 | 10.5 | |
| | リスク3つ該当 | 1.9 | |
| | リスク4つ該当 | 0.1 | |
| | 腹囲・BMI該当 | 2.6 | |
| | 腹囲・BMI・喫煙 | 0.2 | |
| | 服薬中のため情報提供 | 14.2 | |
| 動機づけ支援 | | 3.5 | 4.1 |
| | 65歳↑積極的→動機づけ | 1.1 | |
| 積極的支援 | | 1.0 | 1.1 |
| 合計 | | 100.0 | 100.0 |

- 情報提供者の服薬中では女性 14.2%・男性 27%である。情報提供者でリスク 1つ該当者が多い。
- 動機付け支援・積極的支援該当者割合は女性より男性が高い。

5. 特定健康診査受診者の内服状況（H26 年度法定報告より）

図 6

図 7



- 高血圧治療薬、脂質異常症治療薬の内服者は年齢が上がるとともに割合が高くなっている。
- 高血圧治療薬の内服者では男性・女性共に全ての年齢で一番高い。特に男性の 70~74 歳では 48.8%内服している。
- 高血圧治療薬、糖尿病治療薬の内服割合は全ての年代で女性より男性が高いが、脂質異常症治療薬では 55 歳以上女性は男性より高い。